



アルファガーデン 11月の見どころ

※どなたでもご自由に見学いただけます
※開花時期がずれることがあります

① ツワブキ (石蓼)

(学名: *Farfugium japonicum*)

日本、朝鮮半島、中国南部原産。キク科の常緑多年草。海岸近くの岩場に生えるフキなので、和名は石蓼という。また、葉に艶のあるフキなので、艶蓼（ツヤフキ）からツワブキと呼ばれるようになった。若い葉柄をアク抜きしてから佃煮にして食用可能である。一般的なフキは茎の中が空洞だが、ツワブキは空洞がない。江戸時代の園芸ブームのころ栽培が流行し、葉に斑が入ったものなど、さまざまな品種が生み出された。



② イソギク

(学名: *Chrysanthemum pacificum*)

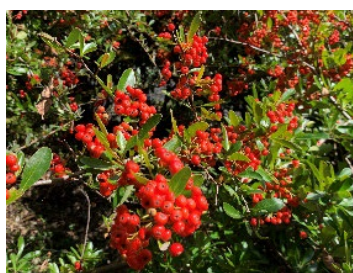
日本固有のキク科の多年草。暖かい地方の海岸近くの岩場に生える。形の良い肉厚の葉の裏面には銀白色の毛が密生しており、表から見ると葉に白い縁取りが入ったように見える。通常、キク科の花は花弁のある舌状花と花弁のない筒状花で構成されるが、本種は花弁のない筒状花のみである。たまにイエギクと自然交雑して、花弁のある花が咲くが、その場合はハナイソギクと呼ばれる。

【花木類（花や実を観賞する樹木）】



③ ハクサンボク

ガマズミ属の常緑小高木。西日本に多い。常緑樹だが、気温が下がると紅葉する。



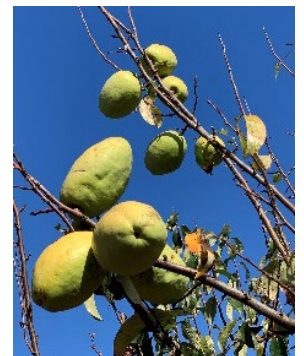
④ ピラカンサ

トキワサンザシ、タチバナモドキなどを総称してピラカンサという。赤、橙、黄などの実が美しい。



⑤ コーストバンクシア

オーストラリア固有種の樹木。白いブラシ状の花が美しい。乾燥に強い。



⑥ カリン

香りのよい実は生食はできないが果実酒などに最適。



【草花類】

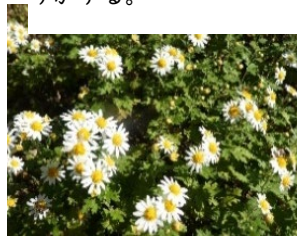


⑦サルビア・レウカンサ
メキシコ原産の大型宿根草。
アメジストセージ、メキシカン
ブッシュセージとも呼ばれ

⑧サルビア・エレガンス
別名パイナップルセージ。
葉をもむとパイナップルの香
りがする。

⑨サルビア 'アンソニーパーカー'
エレガンスとレウカンサの自然交
雑品種。

⑩トウテイラン
葉はシルバーで美しい。
国内の自生地では絶滅危惧。



⑪シュウメイギク
別名キブネギクと呼ばれ
る。本来は赤花の八重を指
す名だが、現在は数種類の
交配されたものの総称。

⑫ノジギク
兵庫県花。瀬戸内海の海に近
いエリアに自生するが、変異
が多い。

⑬ヒメツルソバ
ヒマラヤ原産。金平糖に似た
花が咲く。気温が下がると葉
も紅葉する。

⑭タイワンホトトギス
花の斑点が鳥のホトトギスの胸
の模様に似ていることが名の由
来。花が頂部にかたまってい



⑮ノコンギク (淡路産)
田畑の畔に多い野菊。

